

1. 科目名（単位 数）	教職実践演習（幼稚園）（2 単位）		3. 科目番号	SJTC4575
2. 授業担当教員	鈴木 美子			
4. 授業形態	演習、グループ討議、ロールプレイング		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係	該当する教員免許状の希望者を受講対象者として、履修カルテを使用した授業を実施することから、履修できる学生は、幼稚園教諭の資格課程登録者のみとする。			
7. 講義概要	教員に求められる事項として、中教審答申では次の4つを挙げている。すなわち、①使命感や責任感・教育的愛情に関する事項、②社会性や対人関係能力に関する事項、③幼児理解や学級経営に関する事項、④保育内容等の指導力に関する事項である。本科目では、これらについて履修カルテを見直すとともに教育実習での自分自身の実践を振り返って自己課題を見出し、課題解決の方策を自分たちで検討する学習のプロセスを経て、実践的指導力を身に付けるようにする。			
8. 学習目標	1. 実習を通して、幼児教育に関する自己課題を見出すことができる。 2. 教員に求められる資質（職務への使命感・責任感、幼児に対する愛情）を理解し、自ら振り返る。 3. 幼児理解や学級経営に関する基礎的な能力を身に付ける。 4. 社会性や対人関係能力を身に付ける。 5. 保育内容や指導力に関する実践力を身に付ける。			
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	レポート課題を課します。 実習を通してどのようなことが幼児教育を巡る課題と考えられるか、その他、具体的なテーマを設けてレポートを作成します。作成を通して自己課題を捉え自分で考えながら進めていく力を培ってください。			
10. 教科書・参考 書・教材	必要に応じてプリントを配布します。 参考書は、適宜授業の中で提示します。			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1 教員に求められる資質(職務への使命感・責任感、幼児に対する愛情)を理解し、ふるまえるか。 2 幼児理解やクラス経営に関する基礎的な能力を身に付け、説明でき、ふるまえるか。 ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度およびレポート等を総合して評価する。 1 授業への積極的参加 総合点の30％ 2 期末レポート 総合点の30％ 3 課題レポート 総合点の20％ 4 日常の学習状況 総合点の20％			
12. 受講生への メッセージ	幼稚園教育実習での自分自身の実践がどうであったか、振り返りを基に自己課題を見出していきます。 実習での自分の実践を評価して、実践的指導力を身に付けるための自己課題を捉えて自分でどのような力をつけようとするかを常に意識しながら授業に臨むようにしてください。			
13. オフィスアワー	別途通知します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	イントロダクション:本演習の目的と展開方法について	事前学習	幼児教育の専門性の内容の復習	
		事後学習	これまでの実習の反省からの自己課題を整理する。	
第2回	幼児教育における今日的課題	事前学習	「幼稚園教育要領」のキーワードから幼児教育が目指すものについて確認しておく。	
		事後学習	保育の理想の実現化における多様な実態について整理する。	
第3回	教員に求められる資質① (使命感・責任感)	事前学習	資質①の意味することについての予習	
		事後学習	自己反省と改善のための方法を文章化する。	
第4回	教員に求められる資質② (幼児理解 グループ協議)	事前学習	資質②の意味することについての予習	
		事後学習	自己反省と改善の内容を文章化する。	
第5回	教員に求められる資質② (幼児理解 グループ発表)	事前学習	学級経営①の意味することについての予習	
		事後学習	自己反省と改善の内容を文章化する。	
第6回	主体性を育むために (日々の保育の在り方を考える)	事前学習	学級経営②の意味することについての予習	
		事後学習	自己反省と改善の内容を文章化する。	
第7回	日々の保育をつなげる① (翌日の保育を考える グループ協議)	事前学習	保育において保育者間の協力の必要性について確認する。	
		事後学習	実習における職場の人間関係の体験について振り返る。	
第8回	日々の保育をつなげる② (翌日の保育を考える グループ発表)	事前学習	発表資料を準備しておく	
		事後学習	他グループの発表を含めて学んだことをまとめる。	
第9回	協同性を育む保育 (資料から幼児期に育まれる協同性について学ぶ)	事前学習	協同性に関する資料を読みワークシートに記入してくる	
		事後学習	協同性について整理し理解する。	
第10回	協同性を育む保育 (実践事例から子どもの育ちと保育者の指導の意味を捉える) グループ協議① 映像前半から	事前学習	実践事例前半について考察をまとめてくる。	
		事後学習	グループで捉えた大切だと思われる場面について考察を深める。	
第11回	協同性を育む保育 (実践事例から子どもの育ちと保育者の指導の意味を捉える) グループ協議② 映像後半から	事前学習	自分の責任実習の展開方法の問題点を整理しておく。	
		事後学習	保育展開(一日の流れ、課題活動)のポイントについて確認する。	

第 1 2 回	グループ研究に向けて 研究課題についてのグループ協議	事前学習	研究を行いたい内容を考え、教科書を見直したり資料を探して持ち寄る。
		事後学習	研究内容や役割を分担して進められるようにする。
第 1 3 回	研究課題 グループ協議・発表資料作成	事前学習	調べたり整理したものを持ち寄って協議をする。
		事後学習	研究発表資料を完成させる。
第 1 4 回	研究課題発表	事前学習	発表の準備をする。
		事後学習	自己の学びと他グループの発表からの学びをまとめる。
第 1 5 回	幼稚園教諭としての成長と専門性の習得	事前学習	自分の実習カルテから、専門性修得についての自己評価をする。
		事後学習	専門性向上のための方策をまとめ、レポートを作成する。